



水稲・畑作物・花き・施設野菜等を対象とした農林系研究機関です。
 安全でおいしい農産物の安定生産を目的に技術開発を行っています。

◎こんな分野に対応しています

- 1 食味に優れた水稲品種、酒米用・飼料用・米粉用品種などの開発
- 2 スマート農業技術の開発
- 3 水稲の省力・低コスト栽培や高品質安定生産技術の開発
- 4 小麦、大豆の品種選定や安定生産技術の開発
- 5 農業環境の保全、水田・畑地・施設の土壌改良、施肥改善技術の開発
- 6 病害虫防除技術の開発
- 7 花き・施設野菜の省力・高品質・安定栽培技術の開発

◎こんな施設・設備などがあります

- 1 人工気象室（作物部）
- 2 3ha大区画ほ場（作物部）
- 3 水稲世代促進温室（水稲品種開発部）
- 4 水稲耐冷性検定ほ場（水稲品種開発部）
- 5 水稲有機物連用試験ほ場（土壌環境部）
- 6 いもち病防除試験ほ場（病害虫管理部）
- 7 スマート農業研究・実証ハウス（花き・園芸部）
- 8 スマート農機展示実演ほ場（スマート農業推進室）

◎所在地とアクセス



〒036-0522
 青森県黒石市田中82-9
 Tel:0172-52-4346 Fax:0172-40-4161

◎こんな制度があります

現場解決型農林業ドクター制度

研究員が現場に出向いて課題解決の手助けをします。生産現場へより密着した対応を目指し、生産者自身では解決困難な課題へのアドバイス等を行っています。

◎研究部と主な業務

作物部

水稲・小麦・大豆の栽培技術に関する研究を行っています。特に、省力・低コスト生産技術や高品質安定生産技術の開発に取り組んでいます。



V溝播種機

水稲品種開発部

新たな水稲品種の開発や品種の選定などを行っています。水稲の原種、原原種生産も行っています。



世代促進温室

土壌環境部

水田や畑の土壌改良・施肥管理に関する研究を行っています。土づくりによる持続可能な農業に関する研究にも取り組んでいます。



ペレット堆肥散布

病害虫管理部

水稲、畑作、転作作物や津軽地域で作付けの多い野菜類などの各種病害虫被害に対して、総合的病害虫管理技術（IPM）や効率的防除技術の開発に取り組んでいます。



斑点米と加害カメムシ2種

花き・園芸部

トルコギキョウやアルストロメリアの品質向上や開花期制御等の生産技術の開発とキク・デルフィニウム育成品種の種苗供給を行っています。

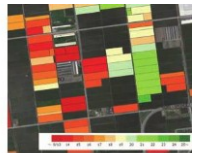
ハウスでのトマト、イチゴの省力・高品質・安定生産技術の開発を行っています。



アルストロメリアの電照試験

スマート農業推進室

スマート農業技術の開発や活用に関する研究を行っています。農作物の品質・収量安定のためにICT（情報通信技術）の活用、人工衛星を利用したリモートセンシング技術の開発にも取り組んでいます。



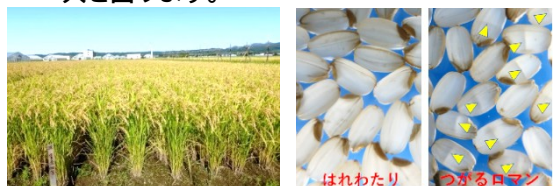
収穫適期マップ



◎主な研究成果

◆**胴割れしにくい極良食味品種「はれわたり」を開発**

- 【目的】 県南地域でも栽培可能な、極良食味で胴割れしにくい水稲品種を開発する。
- 【結果】 「はれわたり」を開発し、令和4年に本県の奨励品種に指定されました。また、日本穀物検定協会の食味ランキングで「特A」評価を取得しました。
- 【今後】 高温下でも胴割れしにくい特徴を活かし、普及拡大を図ります。



「はれわたり」の草姿 胴割粒発生状況（令和元年産米）

◆**米粉に向く高アミロース米品種「あおりっこ」を開発**

- 【目的】 米粉等の加工用に適する高アミロース米品種を開発する。
- 【結果】 米粉麺や米粉パンに向く「あおりっこ」を開発し、令和5年に本県の認定品種に指定されました。
- 【今後】 農産物加工研究所と協力し、米粉を使った加工品等の開発を進め、米粉の利用拡大と「あおりっこ」の普及拡大を図ります。



「あおりっこ」の草姿 グルテンフリー米粉パン

◆**水稲の省力・低コスト技術のマニュアル作成**

- 【目的】 水稲の省力・低コスト栽培技術を開発する。
- 【結果】 育苗経費削減や育苗・田植え作業の省力化ができる「水稲高密度播種苗栽培」、省力的な雑草防除ができる「農業用ドローンを利用した除草剤の散布方法」を開発しました。
- 【今後】 作成したマニュアルを利用し、普及拡大を図ります。



各マニュアル

◆**Web上で簡単に肥料計算ができる「施肥なび」を開発**

- 【目的】 環境負荷を軽減する適正施肥を可能とする。
- 【結果】 土壌診断の結果を基に、養分バランスを考慮した施肥量や資材の組み合わせを試算できるウェブアプリを開発しました。
- 【今後】 県内生産者の活用促進を図ります。



施肥なび（操作画面）

◆**衛星ナビによる高品質米安定生産**

- 【目的】 津軽地域の県産米を対象に、食味・品質等の高位安定化を目指す。
- 【結果】 「青天の露露」の収量が1.2俵/10a増加しました。「はれわたり」、「まっしぐら」の収穫適期が従来法よりも高精度に推定できました。
- 【今後】 対象範囲を県南地域にも拡大予定です。



施肥指導画面（青天ナビ） 収穫適期マップ（はれナビ・まっしナビ）

◆**メロン炭腐病の被害軽減技術を開発**

- 【目的】 本県のメロン産地で発生が確認された炭腐病を対象に、早急に被害軽減技術を開発する。
- 【結果】 有用微生物入り土壌改良資材、緑肥（カラシナ）及び作期移動の併用が効果的であることを明らかにするとともに、本病では国内初となる土壌くん蒸剤の新規登録に貢献しました。
- 【今後】 新規農薬の登録に向けた試験を実施中です。



メロン炭腐病被害の様子

◆**自作できる青森農総研型いちご高設栽培ベンチの構成とかん水・施肥方法**

- 【目的】 夏秋いちごの栽培において、秋期の収量を確保して安定所得を実現する栽培技術を確立する。
- 【結果】 かん水同時施肥を行う青森農総研型いちご高設栽培ベンチを導入することで、秋期の収量を確保する技術を確立した。
- 【今後】 生産者間で同じ栽培方式を導入することで情報共有が円滑に進み、産地としての技術力向上が期待できる。



青森農総研型いちご高設ベンチ



夏秋いちごの高設栽培

◎その他の試験・研究・調査

- ◆**水稲・大豆の有機農業導入のための雑草防除体系の開発**
- ◆**水稲・小麦・大豆の作況試験**
- ◆**優良な種苗の生産（水稲、小麦、大豆、花き）**
- ◆**農耕地土壌実態に関する調査研究**
- ◆**主要病害虫に対する新農薬の効果比較試験**
- ◆**みどりの食料システム戦略に対応した土地利用型作物の化学肥料低減技術の研究** ほか